

内科  
大腸内視鏡について



福本 学

大腸がん検診での便潜血が陽性になる場合、がんのほかにも、痔

ポリープ、炎症などが疑われますが、どこにどんな病気があるかまではわかりません。精密検査には、注腸X線撮影か大腸内視鏡を行います。病変を見逃さないよう、下剤などで大腸の中に便が無い状態にして検査します。「大腸内視鏡は苦しい」という声があります。しかし、内視鏡の硬さを検査中に変えるしくみや、腸管を広げるの

に空気の130倍速く吸収される炭酸ガスを使うなどの機器の進歩と、腸管を押し伸ばさない、送気を極力少なくする、体の姿勢を適宜変換するなどの工夫を組み合せることで、ほとんど苦痛なく検査ができるようになってきています。痛みの強い場合には、鎮痛・鎮静の薬を追加することもあります（この場合、血圧や呼吸の状態が変化するリスクがあります）。

大腸内視鏡についてのご相談を承ります。